

調和体を書く (24)

締切り 十二月十九日 (必着)



奥村 憲 照 先生 書

回作品の出し方

▼硬筆部 B5判 (二五七mm×一八二mm) 以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり書」の三つがあります。

◆現代日本の文章表現は全て漢字かな交じり書ですが、ここでは芸術的創作作品を指し、「調和体」「近代詩文」として書道の一部門を占めています。

◆読める書として人気を高めています。が、古典といわれるものがない故に書法はまだ確立しておらず、各団体で新和様・新書芸などのいろいろな呼称で研究が進められています。

◆今回のお手本は、前会長奥村憲照先生が(財)日本書道教育学会に關係していた頃の^{しんわよう}新和様のお手本です。本誌初登場です。

※「調和体を書く」は今回で一まず終了します。

〔読み〕

年はただ黙々として
ゆくのみぞ

虚子の句

〔解説〕

①可読性を大切に。

②変体仮名・連綿はなるべく控える。

③構成を工夫してみよう。

※落款(署名・捺印)は作品の一部としてバランスよく収めて下さい。

「憲照かく」はご自分の名をお書き下さい。印のない方は、赤ペンで□を書き入れて下さい。

準初段から六段まで

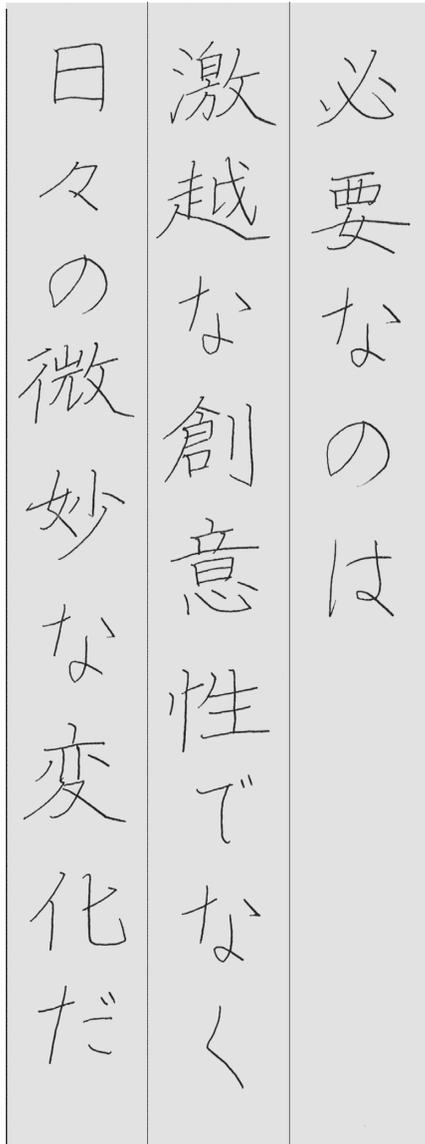
新入から1級まで

〔解説〕



◎今月は楷書。字の形の組合せをしっかりと理解して、練習につぐ練習です。努力こそ上達の最高の手段です。

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。



岡田龍芳書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



大谷清城書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆1月課題予告(行書)
 体験を深く思索し
 理論武装することで
 自信が生まれる

▼教範・書範||楷書
 ▼師範||行草または草書

★必要:(書体||楷書)
 鴨下信一(一九三五)
 テレビドラマの演出家
 落語や歌舞伎、映画を例にとりつ
 つ、「本歌どり」こそ芸術創造の原点
 だと言っています。まず型があり、そ
 れをずらすから、観客もどこが変わっ
 たかがきちんと掴める。暮らしても日々
 その型の手入れを続け、少しずつ手直
 してゆくことで保たれるでしょう。

◆1月課題予告(楷書)
 本当に
 解って欲しい時
 人は言葉を尽くす

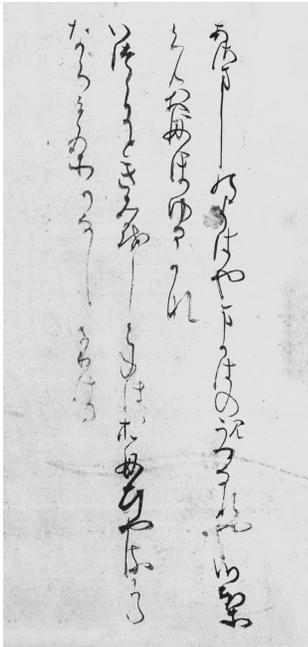
★世界を:(書体||行書)
 杉浦重剛(一八五〇-一九四〇)
 明治・大正時代の思想家
 どんなに優秀な能力や素晴らしい知
 識があったとしても、使わなければ意
 味がありません。成功のために最も必
 要なことは、諦めない事です。
 世界を怖れてチャレンジしないとい
 うことは、自分自身の可能性を丸ごと
 否定することになるでしょう。

締切り 十二月十九日(必着)

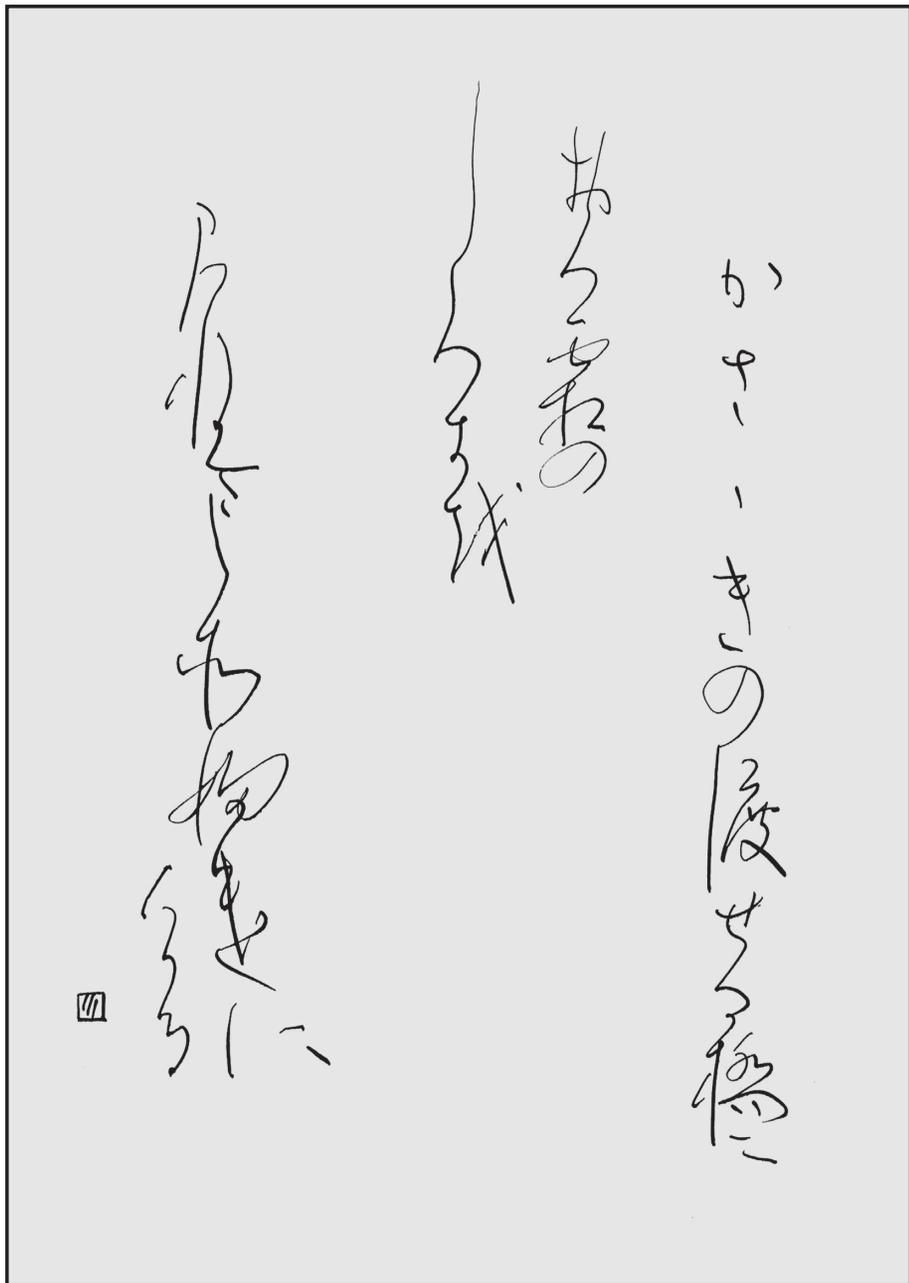
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

いずみしきぶぞくしゅうぎれ
和泉式部続集切



あさましのよはやまがはのうづなれや心ほそ
くんおもほゆるかな
いづこにときみをしらねばおもひやるかた
なくものぞかなしかりける



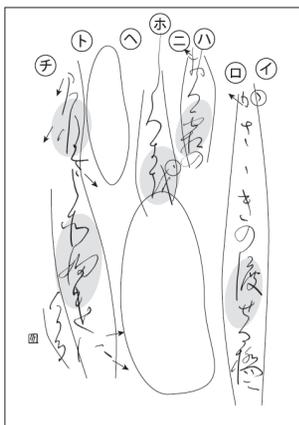
かささぎの渡せる橋におく霜の
白きを見れば夜ぞふけにける

〔歌意〕かささぎが渡した天の川の橋に置いた霜が真っ白なのを見ると、夜がふけたなあと感じる。

〔出典〕新古今和歌集

(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ①と㊦、①と㊧、①と㊨、①と㊩、①と㊪、①と㊫、①と㊬、①と㊭、①と㊮、①と㊯、①と㊰、①と㊱、①と㊲、①と㊳、①と㊴、①と㊵、①と㊶、①と㊷、①と㊸、①と㊹、①と㊺、①と㊻、①と㊼、①と㊽、①と㊾、①と㊿
- 余白大切。
- ↙の方向・場所大切。

◆1月課題予告

春たてば花とや見らむ白雪の
かかれるえだに鶯のなく

締切り 12月19日(必着)

自由課題

- ◆ 今月は、文章も自由といたします。
- ◆ 皆さんのアイデアを生かして自由
に創作して下さい。
- ◆ バラエティに富んだ、個性豊かな
年賀状をお待ちしています。

謹賀新年
皆さまお変わりございませんか
どうぞお元気で御活躍され
ますようお願いいたします
平成三十一年元旦

謹賀新年
皆さまお変わりございませんか
どうぞお元気で御活躍され
ますようお願いいたします
平成三十一年元旦

横書き課題

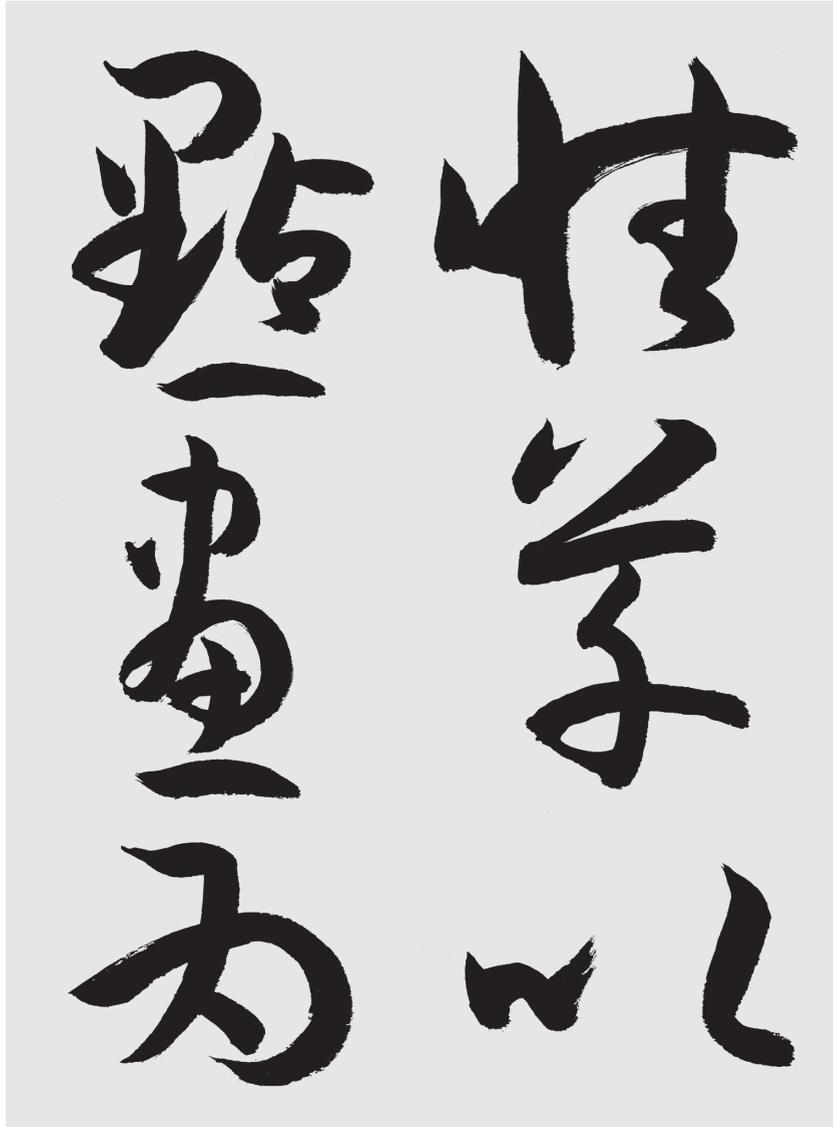
お ぐ 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

赤穂浪士46名は、主君浅野長矩
の仇である吉良の首級をあげた。
宮崎県都城市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 12月19日(必着)

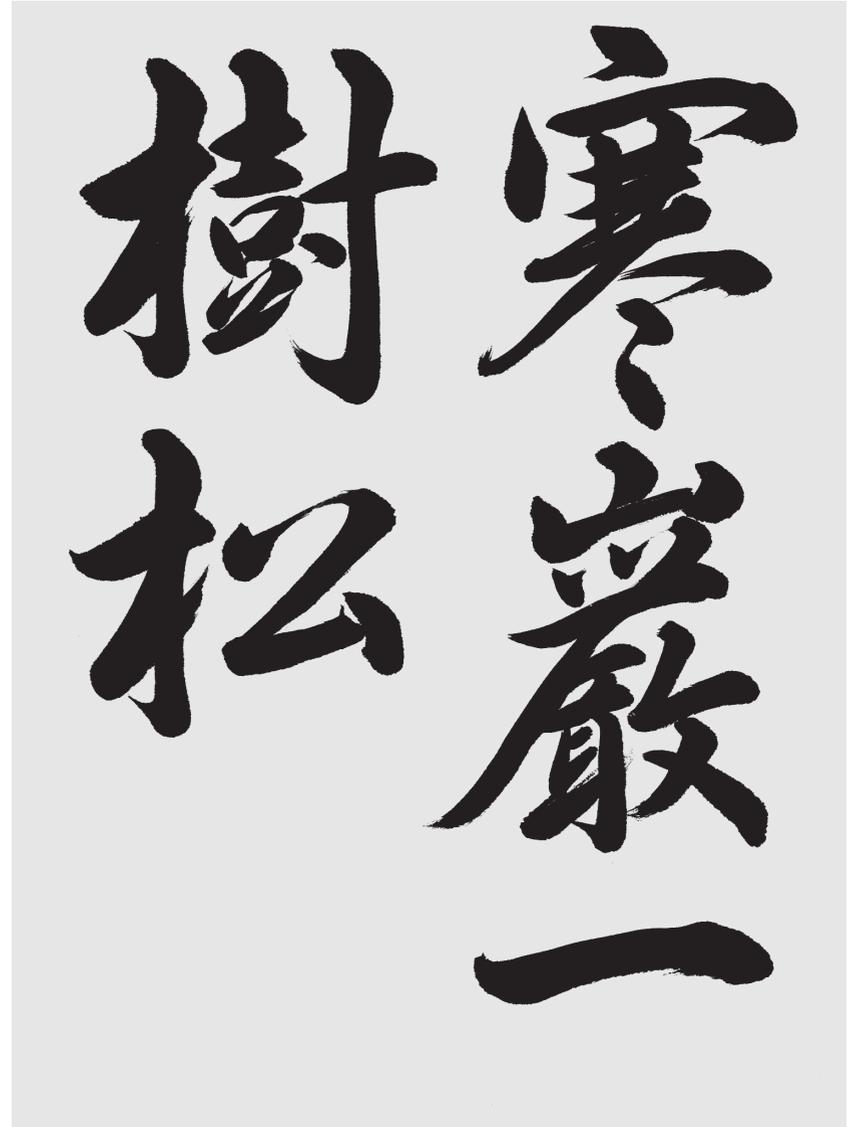


準初段から師範まで

奥村暢之臨

〔出典〕書譜(687) 〔筆者〕孫過庭(648?~703?)

〔読み〕草は点画を以って(情)性と為し、



新入から1級まで(行書)

須田一葉書

〔読み〕寒巖一樹の松

〔大意〕寒さ厳しい岩の上に一本の松の木が毅然とそびえている。

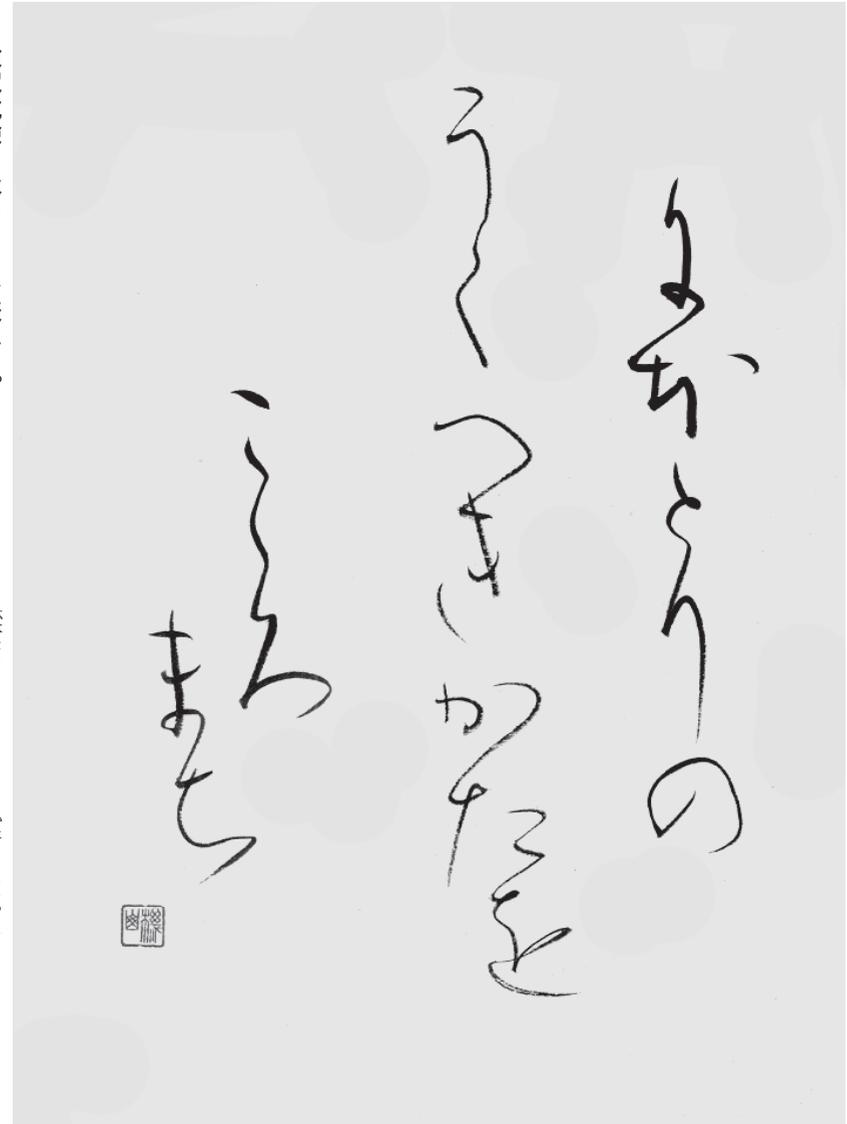
(厳しい修行に耐え、日々精進する修行者の姿にたとえられる。)

一般部毛筆かな課題

締切り 12月19日(必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書



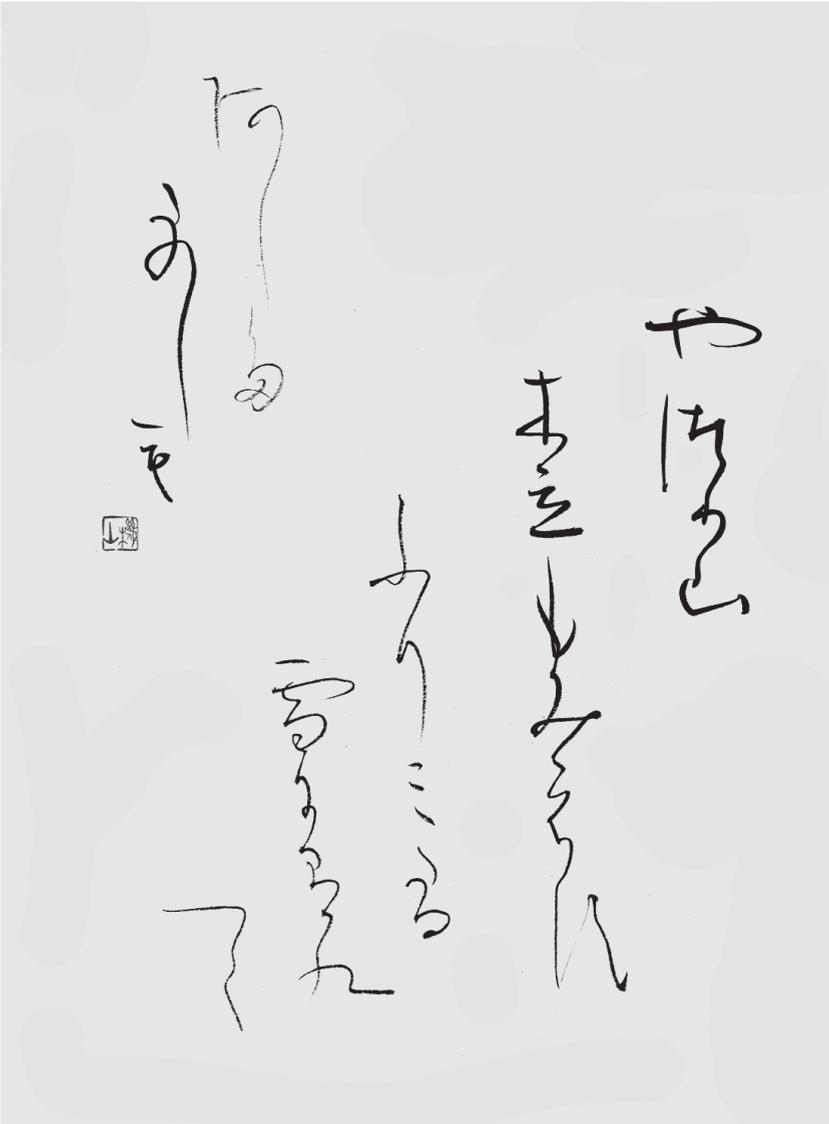
※検定試験1級コースを兼ねる。

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

〔出典〕 岸風三楼

〔句意〕 鳩が長く水に潜る。今度はそのあたりに浮かぶであろうと、姿をあらわすことを心待ちにしている、というのである。



※検定試験二段コース以上を兼ねる。

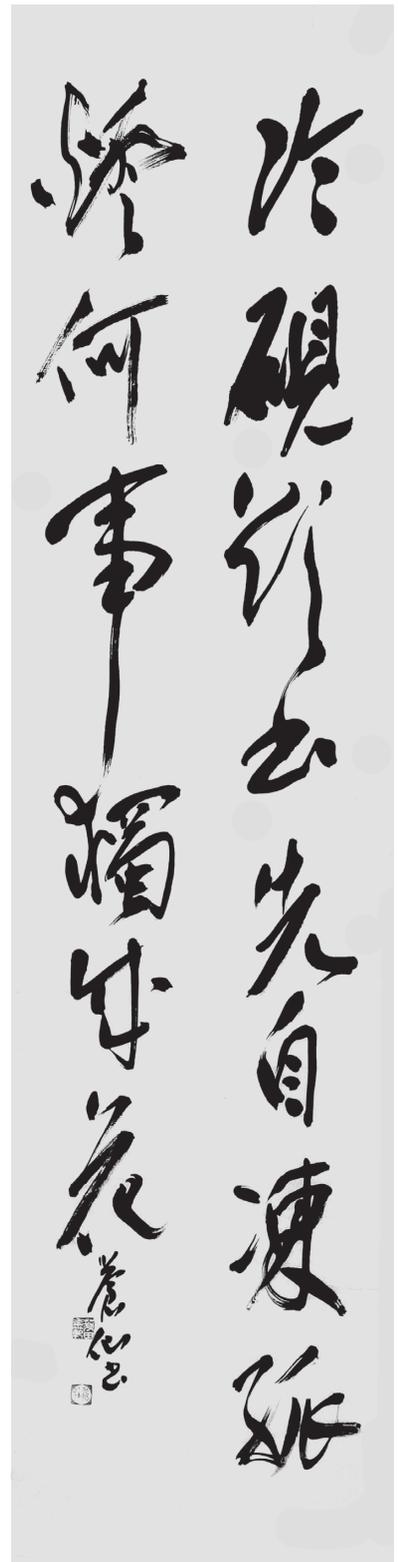
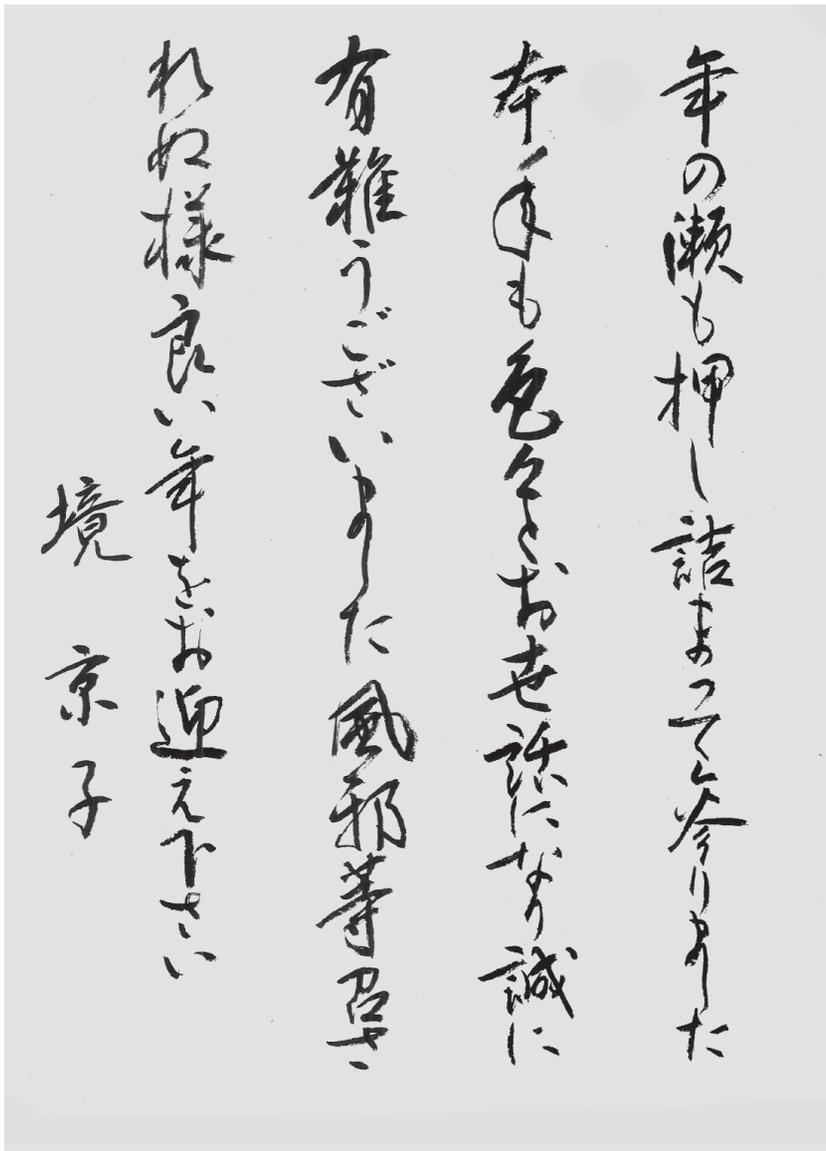
〔出典〕 矢釣山木立も見えぬ降り乱る雪に驟く朝たのしも

〔出典〕 柿本人麻呂

〔歌意〕 矢釣山の木立も見えないくらいに、降り乱れる雪の中を馬を全速力で走らせ御殿に参上する朝は、何とも楽しいことであるよ。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



締切り 十二月十九日(必着) 半切 (一三六cm×三五cm)

荻田蒼仙書

半紙 (334mm × 240mm)

田 華 書
か 玲
い 玲
だ 田
い 樋

※検定試験三段コースを兼ねる。

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔条幅・細字作品の出し方〕

・印で墨つぎしました。

(ご自分の氏名)

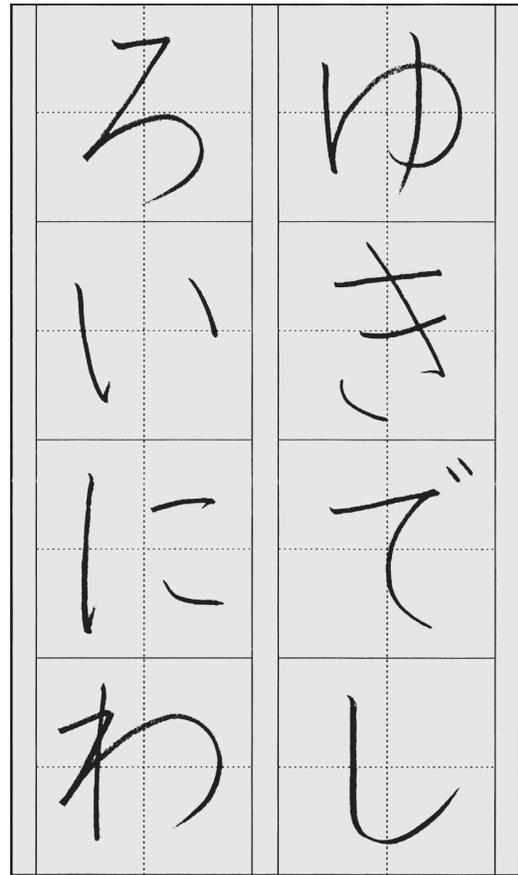
年の瀬も押し詰まってきた今年も色々とお世話になり誠に有難うございました 風邪等召さね様良い年をお迎え下さい

〔条幅解説〕 珍しく一枚書いて気に入った。ところが吊り下げて見ると欠点が目につき、枚数を重ねる程に悪くなる。法帖や日展系の図録を漁っても、どのように自作に同化、マッチさせるか...難しい...結局凡作になりました。

初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

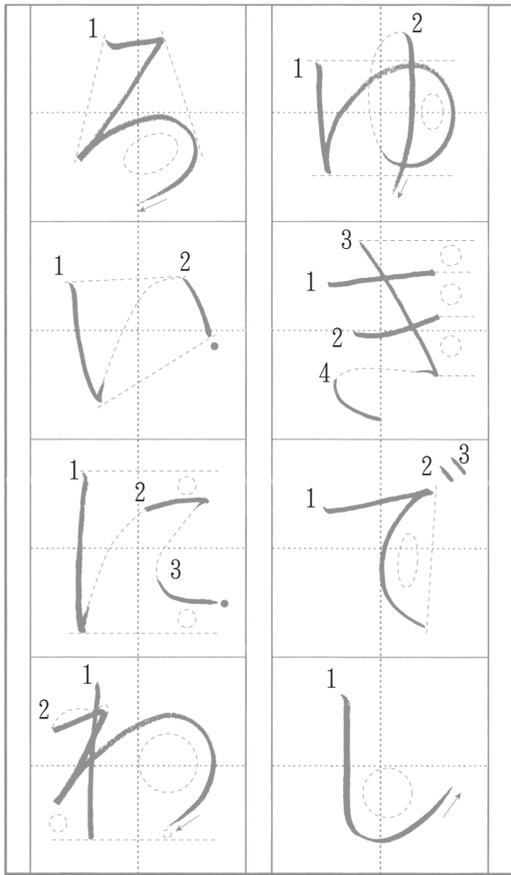
冷硯 欲書先自凍
孤燈 何事獨成花
〔大意〕 硯を取って
書さんとしたが水は凍
り、一台の灯火はいか
なるわけか自然に花を
結んでいる。

よ
う
年



★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



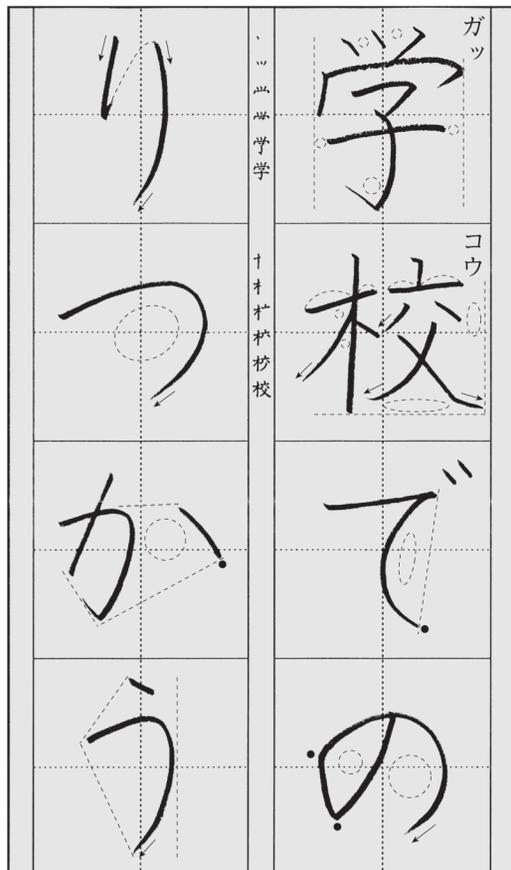
〈ようぐ〉自由(黒色にかきこ)

小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新入〜1級



幼年〜小三年まで
三宅容玉書

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

いろ	色	サン	三
ボン	本	の	の
はな	花	き	黄

新入〜1級

花	の	へ
を	黄	や
か	色	に
ざ	い	三
る	お	本

準初段以上

小二年

準初段以上

ふゆ	冬	やま	山
いけ	池	の	の
こおり	氷	いけ	池

新入〜1級

う	で	冬
す	池	山
い	全	の
氷	体	寒
が	に	さ

準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小四年

が	し	不
わ	い	思
く	気	議
歌	持	な
曲	ち	楽

準初段以上

ノ、ニ、ハ、キ、ク、ケ、コ	気	フ	不
オ、カ、キ、ク、ケ、コ	持	シ	思
カ、キ、ク、ケ、コ	議	キ	議
カ、キ、ク、ケ、コ	な		な

新入1級

〈用具 自由 (黒色に限る)〉

小五年

く	毛	祖
ろ	糸	母
編	で	が
ん	手	緑
だ	ぶ	の

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説 (よく見て習いましょう)

ノ、ニ、ハ、キ、ク、ケ、コ	糸	ソ	祖
一、二、三、手	手	ポ	母
糸、細、絹、綿、編	編	みどり	緑
一、二、三、毛	毛	け	毛

小四年以上 岡嶋桂川書

〈用字 自由 (黒色に限る)〉

シ 次 資 資	ジ 自 自 自 自
リョウ 料 料 料	ユウ 由 由 由
ジョウ 情 情 情	ボウ 貿 貿 貿
ホウ 報 報 報	エキ 易 易 易

解説 (よく見て習いましょう)

を	資	自
収	料	由
集	や	貿
す	情	易
る	報	の

小六年

(全員)

の	も	公
道	踏	園
路	切	近
標	注	く
識	意	に

中二・三年

(楷書)

な	定	映
冒	し	画
険	た	化
小	有	が
説	名	決

中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 さか酒 い井 けい桂 げつ月 書

一 <small>いち</small>			お	明 <small>あ</small>
月 <small>がつ</small>	が	今 <small>こ</small>	め	け
一 <small>いつ</small>	ん	年 <small>とし</small>	で	ま
日 <small>ひ</small>	ば	も	と	し
	ろ	元 <small>げん</small>	う	て
名 <small>な</small>	う	気 <small>き</small>		
ま		に		
え				



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 12月19日 (必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 はやし林 すい翠 ふう風 書

				賀 <small>が</small>
元 <small>がん</small>				
旦 <small>たん</small>	申 <small>もう</small>	ご	本 <small>ほん</small>	
	し	指 <small>し</small>	年 <small>ねん</small>	正 <small>しょう</small>
氏 <small>し</small>	上 <small>あ</small>	導 <small>どう</small>	も	
	げ	を	よ	
	ま	お	ろ	
名 <small>めい</small>	す	願 <small>ねが</small>	し	
		い	く	

◎お手本はつけペン使用

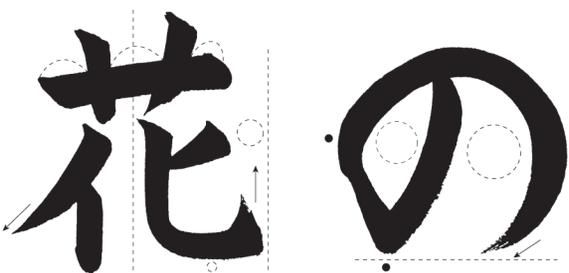
◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年〜小二年
玉樹小華書



小五
毛 緑
糸 の

山 冬
小三
の

中心
持 冬
緑 山
毛 気

ち 気
小四
持

小三、小五年
水野香竹書

中
二・三
注踏

小
六
貿買 自由

意切

易由

小六(中二・三年)

奥村暢之書

説

貿買

踏

貿易

意

冒

中
一
小冒
説險